

令和7年度 施策事前評価シート

施策責任者 所属	健康増進課 福祉保険課		電話番号	直通	986-8769 989-5513
基本目標	いきいきとした暮らしを支える 優しいながいずみ				
政策	健康で幸福を実感できるまちの実現		施策分野	保健・医療	
施策分野 の総事業費	前年度 決算額	206,593 千円	今年度 予算額	221,972 千円	

施策の進捗状況

	成果指標名称	年度	現状値	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	単位	進捗 評価
1	特定健康診査の受診率	目標値		50	51	52	53	55	%	C
		実績値	48.0	46.3	47.5	45.7	48.6			
2	特定保健指導の実施率	目標値		37	41	45	47	50	%	C
		実績値	30.0	34.3	33.0	33.0	38.9			
3	がん検診精密検査平均受診率	目標値		85	87	89	89	90	%	E
		実績値	83.8	78.2	78.2	73.7	72.7			
4		目標値								
		実績値								
					総合評価			C：進捗が思わしくない		

事前分析

施策分野における これまでの 取り組みの概要	特定健康診査：受診行動を促すため封筒・受診票等の文面やデザインの見直しを実施。また対象者の受診傾向に応じた個別勧奨通知の送付、町内施設にて啓発活動を実施した。 特定保健指導：指導相談等に繋げる電話勧奨の実施、特定保健指導の未利用者に対する保健師等の家庭訪問による保健指導の実施。 がん検診精密検査：がん検診の精密検査未受診者全員に対し、受診勧奨通知を送付。R6はLoGoフォームにより精検受診状況や未受診理由の調査も実施した。
施策分野における 背景・環境 及び抱えている課題	・特定健診受診率は国、県の平均値より高いが、国の目標値には達していない。未受診の理由として、通院中であることや多忙、健康への過信等が考えられ、周知の強化や受診環境の向上等、更なる改善が必要である。特定保健指導は国の目標値との乖離が大きく、適時利用勧奨が必要である。令和6年度より保健指導の一部外部委託により休日夜間やオンライン対応等で実施率向上を図っている。被保険者一人当たりの医療費は増加傾向にあり、特定健診、特定保健指導による生活習慣病予防の取り組みが重要となる。 ・がん検診で要精密検査（精検）となった方は、一次医療機関での精検受診か、紹介状により他医療機関で精検を受診することになる。しかし、精密検査を受けようと受診したが医師の判断で経過観察（精検未実施）となったり、医師から精検の必要性の説明は受けたが本人が精検を希望しない等、一定数、検診結果通知後に医療機関を受診したが精密検査につながらない課題がある。
施策分野における 改革・改善内容 及び今後の見通し	・特定健診受診率向上に向けて、町民に対して特定健診の重要性の理解を促進する手段を改めて整理する。未受診者に対しては個別の受診勧奨を実施していく。受診時の感染症対策を継続するよう、住民に周知する。 ・特定保健指導については、集団健診では健診会場で初回面談を実施する体制を継続することや、土日やオンラインでも実施できるようにする等、保健指導を利用しやすい環境を整備し、実施率の向上を図る。 ・がん対策については、ピロリ菌検査等によるがん予防の促進やがん検診受診率向上のためにナッジ理論等の視点を取り入れた資料を作成し、ハガキによる個別検診受診勧奨等にて引き続き精検未受診者へのフォローを実施していく。令和6年度に把握した精密検査未受診の理由を分析し、対象者に必要な情報を提供するための資料を検討するとともに、適切な医療機関の受診について対象者に周知する。